

公益社団法人 地盤工学会
四国支部

平成 24 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 24 年 4 月 25 日（水）

会 場：高松テルサ 会議室

（高松市屋島西町 2366-1）

目 次

特別会員表彰

平成23年度 四国支部賞 受賞業績(者)

第1号議案 平成23年度 支部事業報告(案)

第2号議案 平成23年度 支部収支決算報告(案)

第3号議案 平成24年度 支部役員(案)

第4号議案 平成24年度 支部事業計画(報告)

第5号議案 平成24年度 支部収支予算(報告)

【参考資料】 平成24年度以降の事業予定等

四国支部規程

特別会員表彰

株式会社大林組 四国支店	4 級	(50 年以上)
--------------	-----	----------

西松建設株式会社 四国支店	4 級	(50 年以上)
---------------	-----	----------

大成建設株式会社 四国支店	3 級	(50 年以上)
---------------	-----	----------

計	3 社
---	-----

以 上

平成23年度四国支部賞 受賞業績（者）

1. 技術賞（応募件数 0件）

2. 技術開発賞（応募件数 1件、受賞件数 1件）

受賞業績名	会員	受賞者
利便性に優れた現場透水試験装置 “水華”の開発	正 正 正	久保慶徳（㈱四電技術コンサルタント） 能野一美（㈱四電技術コンサルタント） 向谷光彦（香川高等専門学校）

3. 研究・論文賞（応募件数 1件、受賞件数 0件）

4. 功績賞（応募件数 0件）

以 上

第 1 号議案 平成 2 3 年度 支部事業報告(案)

平成 2 3 年度 支部事業報告

1. 総会、役員会等

(1) 支部総会

第1回 平成23年4月26日(火) 16:00～17:00 高松市(高松テルサ)

- ① 平成22年度 特別表彰 四国支部賞受賞(者)表彰
- ② 平成22年度 支部事業報告
- ③ 平成22年度 支部収支決算報告, 監査報告
- ④ 災害時における調査の相互協力に関する協定
- ⑤ 支部規程制定に伴う表彰規程の変更
- ⑥ 平成23年度 支部役員(案)
- ⑦ 平成23年度 支部事業計画(案)
- ⑧ 平成23年度 支部収支予算(案)

(2) 評議員会

第1回 平成23年4月26日(火) 14:45～15:45 高松市(高松テルサ)

- ① 平成22年度 特別表彰 四国支部賞
- ② 平成23年度 支部事業計画
- ③ 平成23年度 支部収支予算
- ④ 平成23年度 支部役員
- ⑤ 平成22年度 支部事業報告(案)
- ⑥ 平成22年度 支部収支決算報告, 監査報告(案)
- ⑦ 災害時における調査の相互協力に関する協定
- ⑧ 支部規程制定に伴う表彰規程の変更

第2回 平成24年2月8日(水) 15:45～17:00 高松市(サンポートホール)

- ① 平成23年度 支部事業報告
- ② 平成23年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成24年度 支部役員(案)
- ④ 平成24年度 支部事業計画(案)
- ⑤ 平成24年度 支部収支予算(案)
- ⑥ その他

メール審議（平成23年12月8日～12月20日）

- ① 西日本高速道路㈱四国支社管内高速道路における
災害調査に係わる調査費用の取り扱いについて

（３）幹事会

第1回 平成23年6月17日（金）13：30～15：30 高松市（サンポートホール）

- 1. 報告事項
 - ①平成23年度四国支部役員
 - ②地盤工学会第53回通常総会
 - ③平成23年度第1回理事会議事録
 - ④平成23年度第2回理事会議題書
 - ⑤平成23年度 支部交付金(前期)の受入れ
- 2. 検討事項
 - ①平成23年度四国支部事業計画
- 3. その他
 - ①国際会議（AYGEC2012）の開催
 - ②各幹事からの報告事項

第2回 平成24年2月8日（水）13：30～15：30 高松市（サンポートホール）

- 1. 報告事項
 - ①本部理事会
 - ②本部支部懇談会
 - ③平成23年度 支部事業報告
 - ④平成23年度 支部決算見込み報告
 - ⑤支部年次表彰応募状況
- 2. 検討事項
 - ①平成24年度 支部役員（案）
 - ②平成24年度 支部事業計画（案）
 - ③平成24年度 支部収支予算（案）
- 3. その他

メール審議（平成23年11月14日～11月18日）

- 1. 西日本高速道路㈱四国支社管内高速道路における
災害調査に係わる調査費用の取り扱いについて

2. 支部主催事業

(1) 東日本大震災からの教訓と今後の地盤防災講習会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 後 援：公益社団法人土木学会四国支部
- 日 時：平成24年1月17日（火）14：00～17：00
- 会 場：サンポートホール高松 小ホール
- 内 容：東日本大震災による地盤災害と今後の防災 東京大学教授 東畑 郁生
東日本大震災における河川堤防の被害と耐震性向上の考え方
土木研究所 上席研究員 佐々木 哲也
- 参加者：135名

(2) 学術講演会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
公益社団法人土木学会四国支部
- 日 時：平成23年7月1日（金）13：00～16：40
- 会 場：高知市文化プラザ かるぽーと 大講義室(11F)
- 内 容：東日本大震災における巨大地震津波に学ぶ
徳島大学環境防災研究センター客員教授（徳島大学名誉教授） 村上 仁士
東日本大震災の概要と東南海・南海地震
愛媛大学大学院理工学研究科教授、副学長・理事 矢田部 龍一
- 参加者：160名

(3) 平成23年度地盤工学会四国支部技術研究発表会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成23年11月11日（金）
10：50～17：40 研究発表会
18：30～20：30 交流会
平成23年11月12日（土）
9：00～12：00 研究発表会
（午後：見学会）
- 会 場：小豆島国際ホテル
- 優秀発表者：セッションⅠ (株)四電技術コンサルタント 能野 一美
セッションⅡ 愛媛大学理工学研究科 岡本 辰也
セッションⅢ (株)第一コンサルタンツ 奥村 昌史
セッションⅣ 西日本高速道路(株)四国支社 小島 秀範
セッションⅤ 若築建設(株) 水野 健太
セッションⅥ 愛媛大学理工学研究科 本田 美紀
セッションⅦ 香川大学工学部 鏡原 和也

○発表内容

【セッションⅠ】 現地調査・原位置試験 座長：内田純二（西日本高速道路(株)）

1. 風化花崗岩の室内弾性波特性と現地調査結果との比較(第2報)
石川裕規（ニタコンサルタント(株)），山川 治，安富英樹
2. 車両走行による道路舗装－路床系のたわみ特性の評価
松村 裕樹（愛媛大学大学院），森伸一郎（愛媛大学大学院），
鵜久森 潤（愛媛大学工学部）
3. Influence of bridge girders vibration on abutment
Ratna Prasad Twayana (Ehime University)，Shinichiro Mori
4. 再生プラスチックを用いた基礎杭の検討
柏原弘明（香川高専），小竹 望，橋本 裕道（川瀬産業(株)），
岡 憲二郎（日本基礎技術(株)）
5. 小型簡易支持力試験機による軟弱層の検出性能について
Kounlavong Phoutthasinh（香川大学大学院），山中 稔（香川大学工学部），
岩原廣彦（(株)四国総合研究所），金正卓也（ランデックス工業(株)）
6. 利便性に優れた原位置透水試験装置の開発と現場への適用事例
能野一美（(株)四電技術コンサルタント），古川修三，久保慶徳，
向谷光彦（香川高専専攻科）
7. WiFi 網と組み込み Linux サーバーを活用した静電容量式地下水位計による地下水計測
高見淳也（徳島大学工学部），上野勝利（徳島大学大学院），
木戸崇博（徳島大学総合技術センター），鈴木 壽（徳島大学大学院），
渦岡良介，高原利幸（金沢大学）
8. 面源からの排出負荷量の長期間測定システムの開発
西山陽一郎（(株)四電技術コンサルタント），高瀬恵次（愛媛大学農学部）

【セッションⅡ】 液状化 座長：神野邦彦（(株)愛媛建設コンサルタント）

9. 盛土底部の飽和層厚が盛土内の液状化発生に及ぼす影響
岡本辰也（愛媛大学大学院），岡村未対，山本陸登（丸亀市）
10. 地震によりクラックが入った河川堤防に対する簡易貫入試験
田村直登（愛媛大学大学院），岡村未対
11. ニュージーランド 2010 年および 2011 年の地震における
クライストチャーチの液状化噴砂の粒度特性
中野寛隆（愛媛大学工学部），森伸一郎（愛媛大学大学院）
12. 非常用貯水槽埋め戻し土の地盤特性
伊勢紗百合（高知大学），原 忠（高知大学総合研究センター），
竹澤請一郎（(株)ニュージェック）
13. 密な砂質土のせん断特性と粒子破碎の関係
上野舞子（高知大学大学院），原 忠（高知大学総合研究センター），
中瀬 仁（(株)東電設計），沼田淳紀（(株)飛島建設）

14. 須崎平野および宿毛平野の沖積地盤の特性と土質特性

長山学史（(株)第一コンサルタンツ），中村和弘，西川 徹

15. 地盤情報を活用した高知市域の液状化ハザードマップ

坂本 昇（(株)地研），山崎尚明（(株)相愛），西森興司，岡村 洋（(株)地研）

16. インターネットで流通する液状化情報の調査

森賀 渉（愛媛大学工学部），森 伸一郎（愛媛大学大学院）

【セッションⅢ】 斜面崩壊・地すべり 座長：岡村 洋（(株)地研）

17. GIS 解析に基づく南海地震時の高知県内主要道路の地すべりに対するハザード評価

中山雄人（愛媛大学大学院），矢田部龍一，ネトラ プラカッシュ バンダリ

18. 簡易 GPS を用いた落石調査手法の試み

奥村昌史（(株)第一コンサルタンツ），中村和弘，大谷正康

19. 比抵抗情報と地形情報を活用した地震による深層崩壊危険斜面図の試作

水田 朗（香川大学大学院），長谷川修一（香川大学工学部），野々村敦子，
内田 純二（西日本高速道路(株)），河戸克志（大日本コンサルタント(株)），
千葉達朗（アジア航測(株)）

20. 豪雨に伴う道路災害で顕在化した岩盤地すべりの調査事例

山本定雄（応用地質(株)），市原 健，陣内龍太郎

21. GIS を用いた集水域による斜面崩壊ハザード予測法に関する研究

谷成恭輔（愛媛大学大学院），ネトラ・プラカッシュ・バンダリ，矢田部龍一

22. 地すべり土塊の3次元推定法

大竹秀典（愛媛大学大学院），森伸一郎（愛媛大学大学院）

23. 地すべり土塊の極微小挙動の観測

森伸一郎（愛媛大学大学院），大竹秀典（愛媛大学大学院）

24. 大規模地すべりにおける地域性と空間的分布に関する研究

熊崎壮一（愛媛大学理工学研究科），矢田部龍一，ネトラ・プラカッシュ・バンダリ

【セッションⅣ】 現場計測・各種工法 座長：石川 裕規（ニタコンサルタント(株)）

25. 薄肉管の輪荷重載荷実験に対する弾性 FEM 解析

三枝福太郎（阿南高専専攻科），吉村 洋（阿南高専），東田 淳（大阪市大）

26. ローコスト型基礎ブロックの支持力に及ぼす形状と配置の影響

乃村智子（香川高専），向谷光彦（香川高専専攻科），松山哲也（(株)日本興業），
右近雄大，吉田真一郎

27. 高知自動車道伊野地区のり面変状における対策事例

内田純二（西日本高速道路(株)），大内浩之，富田雄一，田中 満

28. 既設グラウトアンカーに後施工により着脱する荷重計(Mリングセンサー)の施工検証

小島秀範（西日本高速道路(株)），内田純二，酒井俊典（三重大学大学院），
藤原 優（(株)高速道路総合技術研究所）

29. 閉端鋼管杭の圧入・引抜時の周面抵抗に関する基礎的模型実験
尾川七瀬（(株)技研製作所），岡田 浩一，石原行博
30. 模型地盤の相対密度の管理と上載圧伝達効率の向上手法について
岡田浩一（(株)技研製作所），尾川七瀬，石原行博，小野正人
31. 砂圧入式静的締固め工法による改良効果（撫養港海岸堤防改良工事）
水野健太（若築建設(株)），後藤文男（国土交通省四国地整），末岡裕司（若築建設(株)），
山田哲也，深田久（SAVE-SP 工法研究会）
32. 砂圧入式静的締固め工法による近接構造物への影響（撫養港海岸堤防改良工事）
松本幸久（若築建設(株)），後藤文男（国土交通省四国地整），末岡裕司（若築建設(株)），
山田哲也，深田久（SAVE-SP 工法研究会）

【セッションⅤ】 要素試験・模型実験 座長：向谷光彦（香川高専専攻科）

33. 樹木の振動による根系周辺地盤の緩みに関する基礎的実験
小川真由（徳島大学大学院），渦岡良介，鈴木 壽，上野勝利
34. 製紙スラッジ灰造粒砂を用いたモルタルの乾燥収縮量予測式の提案
本田美紀（愛媛大学大学院），木下尚樹，安原英明，川口 隆，
松尾 暁（(株)予州興業）
35. 繊維補強固化処理土の引張強度特性
裏山昌平（香川高専専攻科），小竹 望（香川高専），松原三郎
36. 段階載荷・除荷圧密試験から得られる膨張指数に関する検討
日下拓也（徳島大学大学院），岩本真歩，西尾竜文，渦岡良介
37. 等方圧保持試験による堆積岩透水特性の評価
菊池紗帆（愛媛大学工学部），安原英明（愛媛大学大学院），木下尚樹
38. 繊維補強における拘束圧の効果
宮脇史恭（香川高専），小竹 望，裏山昌平
39. 廃棄物処分場遮水工の動的境界面せん断特性に関するブロック振動実験（その2）
小竹 望（香川高専），松原三郎
40. Evaluation of Porosity Change Mediated
By Enzymatic Calcium Carbonate Precipitation in Sand
D. Neupane (Ehime University)，Hideaki Yasuhara，Naoki Kinoshita
41. 地下水位の回復に伴う地盤隆起現象を再現した遠心模型実験
西尾竜文（徳島大学大学院），岩本真歩，日下拓也，渦岡良介

【セッションⅥ】 地震動・災害調査 座長：岡村未対（愛媛大学大学院）

42. 現地調査を取り入れた防災教育手法とその効果
山下祐一（(株)荒谷建設コンサルタント），浅沼智之，北野幸宏，山本和宏

43. 讃岐平野の小山で発生する「山焼け」について
鏡原和也（香川大学工学部），長谷川修一，野々村敦子，
高尾 郁佳（西日本旅客鉄道(株)）
44. 高松城天守台石垣の個別要素法による地震時変形解析について
井筒 大（香川大学大学院），山中 稔（香川大学工学部），長谷川修一
45. 2003 年三陸南地震で崩壊した不飽和造成斜面の地震応答解析
仙波慧多（徳島大学大学院），渦岡良介，海野寿康，上野勝利，鈴木 壽
46. 岩手宮城内陸地震で形成された天然ダムの内部構造調査手法について
内野隆文（応用地質(株)），渦岡良介（徳島大学大学院）
47. 東北地方太平洋沖地震において 松島湾奥の津波被害が小さく，
湾口の島々で岩盤崩壊が多発した理由
長谷川修一（香川大学工学部），Ranjan Kumar Dahal（愛媛大学・トリブバン大学），
野々村敦子（香川大学工学部），鏡原和也
48. 廃棄された多量の計測震度計を利用した地震観測システム
河野 幸一（愛媛大学工学部），森 伸一郎（愛媛大学防災情報研究センター）

○発表者：48名

○参加者：98名

（４）平成 23 年度 現場見学会「内海ダム建設現場」

○主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部

○日 時：平成 23 年 11 月 12 日（土） 13：00～16：10

○場 所：内海ダム建設現場（香川県小豆郡小豆島町内）

○行 程：13：00 小豆島国際ホテル 出発（貸切大型バスで移動）

13：30 内海ダム建設現場 着

右岸側展望台で概要説明→堤体コンクリート打設面上での工法の説明
→左岸側岩盤掘削面での岩盤状況の説明→コンクリート骨材ヤード

15：10 内海ダム建設現場 発

15：20 草壁港 着（フェリー 草壁 16：15→高松 17：43）

16：00 小豆島国際ホテル 着

16：10 土庄港 着（高速艇 土庄 16：30→高松 17：05）

（フェリー 土庄 16：30→高松 17：30）

○参加者：40名

(5) 東日本大震災 東北・四国支部 第一次調査団

○日 程：平成23年4月5日～8日

岩田県内の山岳部・市街地・海岸部

○調査団：大河原正文（岩手大）

常川 善弘（相愛）

原 忠（高知大）

山中 稔（香川大）

石原 行博（技研製作所）

森 伸一郎（愛媛大）

大角 恒雄（徳島大）

(6) 東日本大震災 東北・四国支部 第二次調査団

○日 程：平成23年6月4日～7日

岩田県沿岸部

○調査団：大河原正文（岩手大）

渦岡 良介（徳島大）

上野 勝利（徳島大）

常川 善弘（相愛）

原 忠（高知大）

山中 稔（香川大）

石原 行博（技研製作所）

岡村 未対（愛媛大）

大角 恒雄（徳島大）

岡村 洋（地研）

(7) 東北地方太平洋沖地震 災害調査報告会（第1回）@四国支部

○日 時：平成23年4月11日（月） 13:00～17:00

○会 場：第1会場 サンポートホール高松 61会議室

第2会場 愛媛大学南加記念ホール

○内 容：

13:05～13:20 地盤工学会調査方針と概要 村上 章（副会長・調査団長）

13:20～16:30 調査報告（司会 菊池 喜昭 関東支部幹事長・調査団副団長）

13:20～13:40 「東北北部における複合地盤災害の状況」

ヘマンタ ハザリカ（九州大学）

13:40～14:00 「岩手県沿岸中南部（陸前高田市・大船渡市等）における地震動・津波などによる土構造物の被害や港湾被害，家屋の被害，斜面崩壊」 原 忠（高知大学）

14:00～14:20 「宮城県北部の河川・港湾施設の被害状況」 飛田 哲男（京都大学）

14:20～14:40 「宮城県北部の鉄道・道路の被害状況」 吉田 信之（神戸大学）

14:40～15:00	「関東の液状化被害」	安田 進（東京電機大学）
15:00～15:20	「宮城県内陸部の被害」	古関 潤一（東京大学）
15:20～15:40	「宮城県中部の被害」	規矩 大義（関東学院大学）
15:40～16:00	「宮城県南部・福島県北部の港湾・空港・道路・造成宅地の被害」	野田利弘・山田正太郎（名古屋大学）
16:00～16:20	「福島県内陸部の地震被害」	中村 晋（日本大学）
16:20～16:40	「北海道太平洋岸域の被災状況」	川村 志麻（室蘭工業大学）
16:40～16:55	質疑応答	

○参加者：第一会場 128名
第二会場 235名

（８）地盤工学会四国支部 東北地方太平洋沖地震 災害調査団

○日 程：平成23年4月15日（金）～18日（月）
各地～羽田～酒田～南三陸～気仙沼～一関～陸前高田～大船渡～一関～東京～各地

○調査団：愛媛大学大学院理工学研究科 安原 英明
愛媛大学大学院理工学研究科 木下 尚樹
高知工業高等専門学校 岡林 宏二郎
(株) 芙蓉コンサルタント 須賀 幸一
(株) 四電技術コンサルタント 露口 耕治

（９）地盤工学会四国支部四川地震調査団

○日 程：平成23年9月21日（水）～26日（月）

21日 各地より成都へ

22日 午前 四川省道路調査設計研究院との交流会
午後 四川大学とのセミナー開催

23日 成都⇄映秀

- ・国道213号沿い：斜面、道路、橋梁、建物等復旧復興状況
- ・土石流対策現場：龍池麻柳溝（OYO土石流警戒システム設置現場）
- ・映秀地震公園

24日 成都⇄北川県方面

- ・北川県庁所在地 旧市街、新市街
- ・北川県内主な被災地調査
- ・綿竹市内、地すべり・土石流現場

25日 成都市内、都江堰治水施設等視察

26日 成都より各地

○調査団：愛媛大学大学院理工学研究科 矢田部 龍一
愛媛大学大学院理工学研究科 安原 英明
愛媛大学大学院理工学研究科 木下 尚樹
愛媛大学大学院理工学研究科 ネットラ P. バンダリ

香川大学工学部 山中 稔

香川高等専門学校 向谷 光彦

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 蔣 景彩

応用地質（株）四国支社長 田中 俊彦

愛媛大学工学部 技術職員 中島 淳子

（１０）東北地方太平洋沖地震災害調査・四川大地震調査報告会

○主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部

○後 援：愛媛大学防災情報研究センター

○日 時：平成２４年１月５日（木）１４：００～１７：１５

○会 場：愛媛大学工学部校友会館 ２階サロン

○内 容：「東日本大震災の津波被害調査報告」 愛媛大学理工学研究科 木下 尚樹

「四川大地震の概要と被害状況について」 応用地質（株） 田中 敏彦

「中国四川大地震の復旧・復興状況について」 香川大学工学部 山中 稔

「四川大地震の復旧・復興における中国政府の取り組み」

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 蔣 景彩

「大規模自然災害への戦略的対応を

愛媛大学防災情報研究センター 矢田部 龍一

○参加者：４５名

3. 支部後援事業

(1) 平成23年度応用地質学会中国四国支部講演会

○日 時：平成23年5月20日（金）14：20～19：30

○会 場：サンポートホール高松

○内 容：

1. 講演会 14:20～16：50 会場：61 大会議室（6F）

演題1：温泉化学入門（香川大学教育学部，日本温泉科学会評議員 佐々木信行教授）

演題2：南海トラフ超巨大地震への備え（（独）海洋研究開発機構リーディングプロジェクト，地震津波・防災研究プロジェクト，金田義行プロジェクトリーダー（理学博士））

2. 意見交換会 時間：17：30～19：30 会場：全日空ホテルクレメント高松

2階「雅」（高松駅前）

○参加者：60名

(2) 第1回遠心模型実験技術シンポジウム

○日 時：平成23年9月6日（火）13：30～17：30

○会 場：愛媛大学

○内 容：「パイルドラフト基礎の遠心模型実験」 東京工業大学 澤田 幸平

「動的震動実験における群杭基礎の挙動」 東京工業大学 山田 雅人

「土木研究所における特殊な遠心実験の例」 独）土木研究所 谷本俊輔

「粘土地盤、改良土地盤における遠心模型実験の紹介」 独）土木研究所 堤 祥一

「愛媛大の遠心装置、飽和地盤の作成」 愛媛大学大学院 岡村 未対

「静電容量型センサの模型実験への活用について」 徳島大学大学院 上野 勝利

「地震と津波による地盤災害と構造物被害予測の新しい実験手法」

東洋建設㈱ 総合研究所 鶴ヶ崎 和博

○参加者：42名

(3) 土木学会四国支部 平成24年自然災害フォーラム

○日 時：平成24年3月21日（水）9：50～17：05

○会 場：サンポート合同庁舎 低層棟2階 アイホール

○内 容：

1. 特別講演 2011年に発生した紀伊半島豪雨災害及びタイ水害の特徴と教訓

京都大学防災研究所 准教授 竹林 洋史

2. 論文発表 25件

○参加者：42名

4. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

1) 第1回特別講演会

○日 時：平成23年7月20日（水） 16:30～17:30

○会 場：徳島大学 工業会館 メモリアルホール

○参加費：無料

○内 容：

Geotechnical zoning of territory of new capital Astana for optimization of pile length

Prof. Askar Zhussupbekov, Eurasian National University, Kazakhstan

○参加者：一般12名，学生20名

2) 地盤と環境に関するシンポジウム

○日 時：平成23年12月2日（金） 13:00～17:00

○会 場：徳島大学工学部 工業会館 メモリアルホール

○参加費：2,000 円

○内 容：

・本県における社会資本整備の現状と今後

徳島県 県土整備部 建設管理課 課長 七條 浩一

・2011年東北地方太平洋沖地震における地盤災害

東北大学大学院工学研究科 教授 風間 基樹

○一般発表：8件

○参加者：一般69名，学生16名

(2) 香川県地盤工学会

1) 第1回役員会

○日 時：平成23年7月26日（火）

○会 場：香川国際交流会館 会議室

2) 第2回役員会

○日 時：平成23年3月30日（金）

メール審議

3) 東日本大震災講演会

○日 時：平成23年7月26日（火） 13:30～17:00

○場 所：香川国際交流会館 会議室（高松市番町1-11-63）

○会 費：1,000 円（資料代を含む）

○内 容：特別講演

東日本大震災の教訓および高知県の取り組み

高知大学南海地震防災支援センター・教授 大年 邦雄

話題提供

①宮城県南部（名取地区）での津波被災状況

復建調査設計(株)四国支社地盤技術課 大前 勝稔

②津波被災地域の災害廃棄物処理について

香川大学危機管理研究センター・研究員 山中 稔

③関東地方および福島県内の地盤災害について

香川大学危機管理研究センター・研究員 長谷川修一

④東日本大震災と国土交通省・四国地方整備局の対応

国土交通省四国地方整備局企画部・防災対策官 松本 秀應

○参加者：33名

4)「社会問題としての地盤工学」講演会

○日 時：平成23年12月21日（水）13：30～17：00

○会 場：香川県立ミュージアム・研修室（高松市玉藻町5-5）

○参加費：1,000円（資料代を含む）

○内 容：

1) 津波被災地における災害廃棄物の処理・処分と課題 香川大学 山中 稔

2) ①東日本大震災で明らかとなった地盤工学的課題

②台風12号による紀伊半島の土砂災害 (株)環境地質 稲垣秀輝

○参加者：41名

5)「簡便な原位置透水試験の利活用法」技術講習会

○日 時：平成23年11月2日（水）13：00～17：00

○会 場：事前講習 四電工研修所（高松市鶴市町1417-2）

現地検討 高松市御殿浄水場貯水池（高松市鶴市町1362）

○参加費：無料

○内 容：事前講習「現在の原位置透水試験法と提案法の概要について」

①講習の概要 香川高専専門学校専攻科 向谷光彦

②新しい原位置透水試験について (株)四電技術コンサルタント 久保慶徳, 能野一美

現地検討会

削孔から設置, 計測方法, 表計算による透水係数の現地算出など

○参加者：65名

6) 第1回技術交流会

- 日 時：平成24年1月27日(金) 15:00～16:40
- 場 所：香川高専 専攻科4F大会議室(高松市勅使町355)
- 参加費：無料
- 発表件数：5件
- 参加人数：33名

7) 第2回技術交流会

- 日 時：平成24年2月16日(金) 15:00～16:50
- 場 所：香川高専 専攻科4F大講義室(高松市勅使町355)
- 参加費：無料
- 発表件数：4件
- 参加人数：35名

(3) 高知県地盤工学会

1) 平成23年度高知県地盤工学会 第1回幹事会

- 日 時：平成23年6月24日(金) 18:00～
- 会 場：高知会館(やまもも)
- 内 容：平成23年度高知県地盤工学会役員
平成22年度高知県地盤工学会会計報告
平成23年度高知県地盤工学会事業計画

2) 平成23年度高知県地盤工学会 第2回幹事会

- 日 時：平成24年2月21日(火)
- 会 場：高知ちばさんセンター
- 内 容：平成23年度高知県地盤工学会事業報告
平成24年度高知県地盤工学会事業計画

3) 第1回若手技術者による地盤工学講習会「東日本大震災災害調査を行って」

- 日 時：平成23年7月29日(金) 14:00～17:30
- 会 場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6F メディアホール
- 参加費：1,000円(テキスト代)
- プログラム

13:30	受付開始			
14:00～14:10	開会あいさつ	高知県地盤工学会会長	岡林	宏二郎
14:10～14:40	東日本大震災災害報告	株式会社相愛	常川	善弘氏
14:40～15:10	東日本大震災災害報告	株式会社技研製作所	石原	行博氏
15:10～15:40	東日本大震災災害報告	株式会社地研	岡村	洋氏

15:40～16:10 質疑応答

16:10～16:25 休 憩

16:25～17:15 「東日本大震災調査にみる地盤工学的課題」

香川大学

山中稔准教授

17:15～17:25 質疑応答

17:25～17:30 閉会あいさつ

高知大学

原忠准教授

17:45～19:45 懇親会

○参加者：30名（懇親会14名）

4) 第2回 若手技術者による地盤工学講演会

○日 時：平成23年12月12日(月) 13:30～

○会 場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6F メディアホール

○参加費：1,000円(テキスト代)

○プログラム(若手技術者が自分の関わった、担当した業務に関する発表を行う)

13:30 受付開始

14:00～14:10 開会あいさつ 高知県地盤工学会会長 岡林 宏二郎

14:10～14:40 「ボーリング掘削時の地下水調査について」

株式会社地研

嘉茂 美佐子

14:40～14:55 質疑応答

14:55～15:25 「挿入式孔内傾斜計計測の注意点について」

応用地質株式会社

山本 定雄

15:25～15:40 質疑応答

15:40～16:00 休 憩(20分間)

16:00～16:30 「切土施工現場における調査設計業務」

株式会社地研

坂本 昇

16:30～16:45 質疑応答

○参加者：22名

5) 第30回高知県地盤工学会「東日本大震災災害報告会」

○日 時：平成23年10月3日(月) 13:20～16:50(13:00に受付開始)

○会 場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6F メディアホール

○参加費：2,000円(テキスト代) CPD：3.5ポイント

○プログラム

13:00 受付開始

13:20～13:30 開会のあいさつ

13:30～14:20 「東北地方太平洋沖地震に学ぶ～浦安市の液状化被害分析

と応急調査法の提案～」

高知大学 農学部 原忠准教授

14:20～14:30 質疑応答(10分)

14:30～ 15:20 「東北太平洋沖地震で発生した降下火砕物堆積斜面または
谷埋盛土斜面のランドスライド」
高知大学 農学部 笹原克夫教授

15:20～ 15:30 質疑応答(10分)

15:30～ 15:45 休憩(15分)

15:45～ 16:35 「東日本大震災の被災状況および復旧・復興に向けた取り組み」
高知工業高等専門学校 建設システム工学科 岡林宏二郎教授

16:35～ 16:45 質疑応答(10分)

16:45～ 16:50 閉会のあいさつ

○参加者：40名(学生10名含む)

6) 第1回 土質地質調査業務等における総合評価方式の研究会

○日 時：平成23年11月8日(火) 13:30～

○会 場：高知大学日章キャンパス

○内 容：土質地質調査業務等業務の総合評価方式の入札について

○参加者：17名

7) 第2回 土質地質調査業務等における総合評価方式の研究会

○日 時：平成23年11月24日(木) 13:30～

○会 場：高知大学日章キャンパス

○内 容：土質地質調査業務等業務の総合評価方式の入札について

○参加者：14名

8) 第3回 土質地質調査業務等における総合評価方式の研究会

○日 時：平成23年12月14日(月) 13:30～

○会 場：高知ちばさんセンター

○内 容：土質地質調査業務等業務の総合評価方式の入札について

○参加者：15名

(4) 愛媛県地盤工学研究会

1) 「熱・水・応力・化学連成場における岩盤の透水物質輸送機構の研究」講演会

○主 催：愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻環境建設工学コース

愛媛大学防災情報研究センター・愛媛県地盤工学研究会

○講 師：安原英明(愛媛大学大学院理工学研究科准教授)

○日 時：平成23年5月10日 12:50～14:20

○会 場：愛媛大学情報メディアセンター・メディアホール

○参加者：73名

2) 愛媛県地盤工学会第1回特別講演会

○主 催：愛媛県地盤工学会・愛媛大学防災情報研究センター

○日 時：平成23年8月29日(月) 14:00～16:40

○会 場：愛媛大学校友会館2階・サロン

○内 容：

・GISを用いた地すべり斜面防災研究

～四国地域とネパールを中心としたハザード解析例～

愛媛大学大学院理工学研究科 ネットラ P. バンダリ

・道路土工一切土工・斜面安定工指針の改訂における「落石・岩盤崩壊対策」のポイント

(株)第一コンサルタンツ代表取締役社長 右城 猛

・エネルギー吸収性能に優れた落石対策工 日本プロテクト(株)取締役社長 加賀山 肇

○参加者：41名

3) 愛媛県地盤工学会第2回特別講演会

「南海・東南海に向けて今後のあり方を考える」

○主 催：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会

○日 時：平成24年1月27日(金) 15:00～17:30

○会 場：ホテル奥道後 会議室

○内 容：

・愛媛大学におけるネパールの防災研究 愛媛大学理工学研究科 ネットラ P. バンダリ

・東日本大震災の復興に向けて「津波防災地域づくり」

国土技術政策総合研究所 河川研究部 水資源研究室長 鳥居謙一

・南海・東南海に関して 愛媛大学副学長・理事、防災情報研究センター長 矢田部龍一

○参加者：25名

4) 国際講演会「南アジアの防災に関わる SDMC の取り組み」

○主 催：愛媛大学防災情報研究センター・愛媛県地盤工学会

○共 催：愛媛大学国際連携推進機構

○日 時：平成24年1月21日(土) 13:30～15:00

○会 場：愛媛大学

○内 容：

・南アジアの防災に関わる SDMC の取り組み

SDMC センター長 Dr. Mishra Om Prakash

○参加者：15名

5. 支部委員会

(1) 地盤地震防災研究委員会

○概 要

地盤地震防災上の諸課題（当面は液状化）に対して調査研究を行うと共に、最新の情報と技術を普及することを目的としている。そのために定期的な研究会や研究発表会の開催により全国の最新情報の収集・交換をはかる。また、講演会、講習会を通じて技術の普及を図る。

①今年度の活動状況

○第一回委員会（平成23年6月30日 16:00～18:00, サポートホール高松55会議室, 出席者16名）

- ・委員会趣旨説明
- ・活動内容に関する意見交換

○第二回委員会（平成23年8月11日 17:00～18:00, サポートホール高松52会議室, 出席者17名）

- ・話題提供

渦岡委員：液状化のメカニズム

原委員：東日本大震災における液状化被害

- ・活動内容

共通課題を通して、液状化問題に対する知識と現状の問題に対する議論を深めるため、液状化地盤上の直接基礎構造物の遠心模型実験を対象としたブラインド解析を実施することを決定。各県毎の4チームで室内試験、解析などを実施。

○第三回委員会（平成23年10月4日 15:00～17:00, サポートホール高松55会議室, 出席者12名）

- ・一斉解析

岡村委員：一斉解析に関する情報提供

- ・支部講習会

内容と日時、講師案を決定。

○第四回委員会（平成24年1月17日 10:00～12:00, サポートホール高松55会議室, 出席者14名）

- ・一斉解析

各県毎に液状化・変形解析による事前予測（Prediction A）報告と結果の議論

今後のPrediction Bに向けて進め方

○支部講習会の運営補助

平成24年1月17日 14時から17時に行われた支部講習会の運営を補助。

6. その他

(1) 西日本高速道路㈱四国支社管内の高速道路における災害調査

「災害時における調査の相互協力に関する協定（平成23年4月26日締結）」に基づき、
西日本高速道路㈱四国支社からの要請により実施した災害調査

○調査日時：平成23年9月21日（木） 14：00～20：00

○調査場所：①高松自動車道（106.2KP 付近）

②松山自動車道（93.7KP 付近）

○調 査 者：①愛媛大学大学院理工学研究科 岡村未対教授

②徳島大学大学院 渦岡良介教授

②徳島大学大学院 上野勝利教授

以 上

第2号議案 平成23年度 支部収支決算報告(案)

	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	5,126,488	292,000	0	0	5,418,488	0	5,418,488
調査研究・基準事業収益（公2）	0	5,126,488	0	0	0	5,126,488	0	5,126,488
学術講演会収益	0	162,360	0	0	0	162,360	0	162,360
見学会収益	0	38,000	0	0	0	38,000	0	38,000
技術研究発表会収益	0	252,290	0	0	0	252,290	0	252,290
地盤工学研究会収益	0	427,041	0	0	0	427,041	0	427,041
技術指導収益	0	135,014	0	0	0	135,014	0	135,014
受託事業収益（NEXCO）	0	4,111,783	0	0	0	4,111,783	0	4,111,783
技術推進事業収益（公3）	0	0	292,000	0	0	292,000	0	292,000
講習会収益	0	0	292,000	0	0	292,000	0	292,000
② 雑収益	0	0	0	0	80,536	80,536	80,535	161,071
受取利息	0	0	0	0	536	536	535	1,071
雑収益	0	0	0	0	80,000	80,000	80,000	160,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	594,677	594,677	1,104,400	1,699,077
本部交付金	0	0	0	0	594,677	594,677	1,104,400	1,699,077
経常収益計	0	5,126,488	292,000	0	675,213	6,093,701	1,184,935	7,278,636
(2) 経常費用								
① 事業費	0	5,484,608	730,778	12,030	0	6,227,416	0	6,227,416
調査研究・基準事業費（公2）	0	5,484,608	0	0	0	5,484,608	0	5,484,608
学術講演会費	0	133,040	0	0	0	133,040	0	133,040
見学会費	0	80,577	0	0	0	80,577	0	80,577
技術研究発表会費	0	323,080	0	0	0	323,080	0	323,080
研究会助成金支出	0	1,227,029	0	0	0	1,227,029	0	1,227,029
研究事業支出	0	101,100	0	0	0	101,100	0	101,100
技術指導費	0	135,014	0	0	0	135,014	0	135,014
受託事業費（NEXCO）	0	3,484,768	0	0	0	3,484,768	0	3,484,768
技術推進事業費（公3）	0	0	730,778	0	0	730,778	0	730,778
講習会費	0	0	183,165	0	0	183,165	0	183,165
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	547,613	0	0	547,613	0	547,613
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	12,030	0	12,030	0	12,030
表彰事業	0	0	0	12,030	0	0	0	0
② 管理費	0	0	0	0	0	0	1,093,250	1,093,250
借入費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	48,455	48,455
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	188,760	188,760
通信費	0	0	0	0	0	0	52,750	52,750
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	65,100	65,100
HP管理費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
雑費	0	0	0	0	0	0	278,185	278,185
経常費用計	0	5,484,608	730,778	12,030	0	6,227,416	1,093,250	7,320,666
当期経常増減額	0	△ 358,120	△ 438,778	△ 12,030	675,213	△ 133,715	91,685	△ 42,030
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 358,120	△ 438,778	△ 12,030	675,213	△ 133,715	91,685	△ 42,030
一般正味財産期首残高								6,946,920
一般正味財産期末残高								6,904,890
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,904,890

監 査 報 告 書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部
支部長 末 澤 等 殿

平成24年 4月 4日
公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監 事 田中 敏彦 

監 事 右城 猛 

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関しての報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成23年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成24年度 支部役員(案)

平成24年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	石 橋 良 啓	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
副支部長	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	渦 岡 良 介	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7345
"	金 井 隆 夫	(社)日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株)四国支店 執行役員支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
顧 問	川 崎 正 彦	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	藤 田 乾 一	(独)水資源機構吉野川局長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	武 山 正 人	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2215
"	噂 耕 司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業㈱代表取締役 〒760-0067 高松市桜町1-17-3	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-8222 FAX 087-862-2807
"	松 本 晃 一	西日本高速道路(株)四国支社副支社長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1898 FAX 087-823-3636
"	矢 田 部 龍 一	愛媛大学 理事・副学長 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
"	末 澤 等	四国電力(株) 執行役員 土木建築部長 〒760-0033 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
評議員	笹 原 克 夫	高知大学 教育研究部自然科学系農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	鈴 木 壽	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7347 FAX 088-656-7347
"	岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
"	小 竹 望	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3927 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	池 田 直 太	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-851-8061 FAX 087-811-8431
"	海 野 修 司	徳島県 企業局長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	細 谷 芳 照	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3510 FAX 087-806-0220
"	井 上 眞 三	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-945-0282
"	石 井 一 生	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9811 FAX 088-823-9263
"	殿垣内 正 人	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1893 FAX 087-851-1254
"	岡 田 英 信	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	須 賀 幸 一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	斎 藤 章 彦	(株)四国総合研究所 土木技術部上席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 087-844-9215 FAX 087-844-9235

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
"	神 野 邦 彦	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)愛媛建設コンサルタント 代表取締役 〒790-0036 松山市小栗7-11-8	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 089-947-1011 FAX 089-941-8606
"	増 田 浩 正	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)増田地質工業 代表取締役 〒760-0005 高松市宮脇町1-18-23	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
"	志 水 勇起弘	建設コンサルタンツ協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	安 藤 進	(社)日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
"	川 崎 邦 彦	(社)日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設(株) 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-7505
"	岡 本 正	(社)日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-4300 FAX 087-822-6614
"	吉 見 和 行	(社)日本建設業連合会 四国支部 幹事 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	東 瀧 等	(社)日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
"	三 谷 一 彦	四国建設業協会 会長 〒780-0870 高知市本町4-2-15	TEL 088-822-6181 FAX 088-823-5662
支部監事	田 中 敏 彦	応用地質(株) 四国支社支社長 〒791-8013 松山市山越4-4-33	TEL 089-925-9516 FAX 089-925-9582
"	右 城 猛	(株)第一コンサルタンツ 代表取締役社長 〒781-8122 高知市高須新町3-1-5	TEL 088-885-2100 FAX 088-884-3783
幹 事 長	後 藤 文 男	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
事務局長	森 和 彦	国土交通省 四国地方整備局 企画部企画課課長補佐 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
事務局長補佐	南 都 秀 樹	国土交通省 四国地方整備局 企画部企画課企画第二係長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
事務局員	中 島 淳 子	愛媛大学 工学部環境建設工学科 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
幹 事	山 中 稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
"	野々村 敦 子	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2146 FAX 087-864-2188
"	神 田 幸 正	株式会社ビュー設計 〒771-0136 徳島県徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
"	安 原 英 明	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9817
"	岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	小 松 浩 二	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-851-8061 FAX 087-811-8431
"	寺 沢 文 彦	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	杉 峯 正 夫	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3510 FAX 087-806-0220

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
"	葛 原 健 二	愛媛県 土木部管理局土木管理課技術企画室 技術室長補佐 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-945-0282
"	笹 岡 吉 市	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9825 FAX 088-823-9263
"	坂 野 和 弘	(独)水資源機構吉野川局 施設管理課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	内 田 純 二	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術課長代理 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1934 FAX 087-826-3057
"	中 廣 政 之	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 副リーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-821-3177
"	松 家 定 史	(株)四電技術コンサルタント 地質部副部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
"	香 川 年 市	青葉工業(株) 取締役営業所長 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-8223 FAX 087-837-2807
"	久 保 隆 昭	(社)日本建設業連合会 四国支部 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
		大成建設(株) 四国支店 土木部安全環境推進室長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
(徳島県) 地域幹事	生 田 浩 一	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
"	田 村 節 雄	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
"	瀬戸口 雄 二	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-2021 FAX 088-626-5691
"	安 芸 浩 資	ニタコンサルタント(株) 環境防災部課長 〒771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0115
"	小田桐 七 郎	四国建設コンサルタント(株) 技術三部課長 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3393 FAX 088-683-3563
(高知県) 地域幹事	森 本 修 三	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
"	野 本 啓 介	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
"	海 治 甲太郎	高知市 都市整備部長 〒780-8571 高知市本町5-1-45	TEL 088-822-8111 FAX 088-823-9038
"	陣 内 龍太郎	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-8010 高知市棧橋通4-16-42 日電工高知ビル2F	TEL 088-833-8811 FAX 088-832-9501
"	奥 村 昌 史	(株)第一コンサルタンツ 〒781-8122 高知市高須新町3-1-5	TEL 088-884-1330 FAX 088-884-3783
"	岡 崎 健一郎	(株)轟組 部長(事業計画・防災担当) 〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	TEL 088-834-1016 FAX 088-834-1028
"	尾 川 七 瀬	(株)技研製作所 実証科学課 〒781-5195 高知市布師田3948-1	TEL 088-803-1256 FAX 088-803-1266
"	中 根 久 幸	(株)地研 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
(愛媛県) 地域幹事	小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 准教授 〒790-0905 松山市樽味3-5-7	TEL 089-946-9929 FAX 089-946-9929
"	川 口 悦 史	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長 〒791-8058 松山市海岸通2426-1	TEL 089-951-0162 FAX 089-946-8010
"	篠 原 俊 憲	カナン地質(株) 取締役会長 〒790-0924 松山市南久米町545-4	TEL 089-993-6711 FAX 089-993-6733
"	松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長 〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	TEL 0897-37-2796 FAX 0897-32-5979
(香川県) 地域幹事	曾 谷 高 之	(株)奥村組四国支店 土木部長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	田 村 彰 三	田村ボーリング(株) 専務取締役 〒760-0007 高松市中央町6-19-21	TEL 087-833-7878 FAX 087-834-4795
"	木 下 博 久	復建調査設計(株)四国支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-1917
"	植 田 昌 宏	(株)チェリーコンサルタント 調査環境部長 〒760-0037 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962

第4号議案 平成24年度 支部事業計画(報告)

平成24年度 支部事業計画

1. 総会、役員会等

(1) 支部総会

第1回 平成24年4月25日(水) 16:00～17:00 高松市(高松テルサ)

- ① 平成23年度 特別会員表彰 四国支部賞受賞(者)表彰
- ② 平成23年度 支部事業報告
- ③ 平成23年度 支部収支決算報告, 監査報告
- ④ 平成24年度 支部役員(案)
- ⑤ 平成24年度 支部事業計画(案)
- ⑥ 平成24年度 支部収支予算(案)

(2) 評議員会

第1回 平成24年4月25日(水) 14:45～15:45 高松市(高松テルサ)

- ① 平成23年度 特別会員表彰 四国支部賞
- ② 平成24年度 支部事業計画
- ③ 平成24年度 支部収支予算
- ④ 平成24年度 支部役員(案)
- ⑤ 平成23年度 支部事業報告(案)
- ⑥ 平成23年度 支部収支決算報告, 監査報告(案)

第2回 平成25年2月(予定)

- ① 平成24年度 支部事業報告
- ② 平成24年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成25年度 支部役員(案)
- ④ 平成25年度 支部事業計画(案)
- ⑤ 平成25年度 支部収支予算(案)
- ⑥ その他

(3) 幹事会

3回程度開催

2. 支部主催事業

(1) 講習会 担当：香川大学

日時：平成24年12月頃

場所：未定

(2) 学術講演会 担当：土木学会

日時：未定

場所：未定

(3) 技術研究発表会 担当：愛媛大学

日時：平成24年11月16日～17日

場所：内子自治会館

(4) 見学会 担当：愛媛大学

日時：平成24年10月6日

場所：愛媛県今治市 大島

(5) 海外調査および災害調査・報告会

日時：未定

場所：未定

3. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

- 1) 地盤と環境に関するシンポジウムプログラム (徳島大学)
日時：平成24年12月から平成25年1月
- 2) 第一回特別講演会
日時：未定
- 3) 第二回特別講演会
日時：未定

(2) 香川県地盤工学会

- 1) 役員会
 - ①第1回役員会
日時：平成24年6月開催予定
 - ②第2回役員会
日時：平成25年3月開催予定
- 2) 主催事業
 - ①平成24年度第1回学術講演会
日時：平成24年6～7月 (予定)
 - ②平成24年度第2回学術講演会
日時：平成24年11～12月 (予定)
- 3) セミナー
随時開催

(3) 高知県地盤工学会

- 1) 第31回高知県地盤工学会(講演会)
日時：平成24年6月(予定)
会場：未定
- 2) 第32回高知県地盤工学会(講演会)
日時：平成24年11月(予定)
会場：未定
- 3) 若手技術者のための地盤工学講演会
日時：平成24年7月, 12月(予定)
会場：未定

4) 幹事会

①第1回幹事会

日時：平成24年4月開催予定

会場：高知ちばさんセンター

議題：1. 平成24年度高知県地盤工学会役員について

2. 平成23年度高知県地盤工学会会計報告

3. 平成23年度高知県地盤工学会事業報告

4. 平成24年度高知県地盤工学会事業計画

②第2回幹事会

日時：平成25年2月開催予定

会場：高知ちばさんセンター

議題：1. 平成24年度高知県地盤工学会事業報告

2. 平成25年度高知県地盤工学会事業計画

(4) 愛媛県地盤工学会

1) 平成24年度第一回講演会

日時：平成24年7月頃

場所：愛媛大学

2) 平成24年度第二回講演会

日時：平成24年12月頃

場所：愛媛大学

4. 支部委員会

- ・ 地盤地震防災研究委員会

液状化地盤上の直接基礎構造物の遠心模型実験を対象としたブラインド解析を継続するとともに、室内試験、模型実験などの講習会の実施についても検討する。また、支部内に広く最新情報や技術の普及を図ることを目的として講演会を実施する。

- ・ 地盤災害研究委員会

第5号議案 平成24年度 支部収支予算(報告)

	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	270,000	250,000	0	0	520,000	0	520,000
調査研究・基準事業収益（公2）	0	270,000	0	0	0	270,000	0	270,000
学術講演会収益	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	250,000	0	0	0	250,000	0	250,000
技術推進事業収益（公3）	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
講習会収益	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
② 雑収益	0	0	0	0	91,650	91,650	91,650	183,300
受取利息	0	0	0	0	300	300	300	600
雑収益	0	0	0	0	91,350	91,350	91,350	182,700
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	609,000	609,000	1,131,000	1,740,000
本部交付金	0	0	0	0	609,000	609,000	1,131,000	1,740,000
経常収益計	0	270,000	250,000	0	700,650	1,220,650	1,222,650	2,443,300
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,260,000	990,000	20,000	0	2,270,000	0	2,270,000
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,260,000	0	0	0	1,260,000	0	1,260,000
学術講演会費	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
見学会費	0	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
技術研究発表会費	0	240,000	0	0	0	240,000	0	240,000
研究会助成金支出	0	800,000	0	0	0	800,000	0	800,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
技術推進事業費（公3）	0	0	990,000	0	0	990,000	0	990,000
講習会費	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	740,000	0	0	740,000	0	740,000
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000
表彰事業	0	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	913,300	913,300
備人費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000
通信費	0	0	0	0	0	0	40,000	40,000
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
HP管理費	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
雑費	0	0	0	0	0	0	113,300	113,300
経常費用計	0	1,260,000	990,000	20,000	0	2,270,000	913,300	3,183,300
当期経常増減額	0	△ 990,000	△ 740,000	△ 20,000	700,650	△ 1,049,350	309,350	△ 740,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 990,000	△ 740,000	△ 20,000	700,650	△ 1,049,350	309,350	△ 740,000
一般正味財産期首残高								6,904,890
一般正味財産期末残高								6,164,890
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,164,890

【参考資料】

①平成 24 年度以降の事業予定

②四国支部規定等

- ・地盤工学会四国支部規程 (平成 22 年 4 月 21 日制定)
- ・地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・旅費, 謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・各県地盤工学会研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

H 2 4 年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴と予定

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	建設フェア	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H. 1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専		土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		

公益社団法人地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
評 議 員	若干名
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	若干名

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員の選任)

第 7 条 支部役員は、評議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならない、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を評議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員の解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、評議員会にて選考する。

第4章 会 議

(会議)

第13条 支部の会議は、支部総会、評議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め評議員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員の選任または解任
- (2) 事業報告及び決算報告の承認
- (3) 支部規程その他の規程の変更
- (4) その他、評議員会で認めた事項

5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。

6 委任状は、当該議事につき、書面をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(評議員会)

第15条 評議員会は、評議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。

2 評議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。

3 評議員会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業報告及び決算
- (2) 事業計画及び予算
- (3) 規程等の制定及び変更
- (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
- (5) その他、会務運営上の事項

4 評議員会は、評議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。

5 委任状は、当該議事につき、書面をもって、評議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

6 評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

第16条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。

3 幹事会は、評議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

第17条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

(支部の経費)

第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。

2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、評議員会

- の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の決議を経て総会の承認を得なければならない。

第6章 支部表彰

第22条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第7章 支部規程の改廃

第23条 この規程を改廃しようとするときは、評議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。

2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成22年11月1日から施行する。

地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第22条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会(以下「委員会」という)において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員(以下「実行委員会」という)で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事(以下「記念行事」という)の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学会研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第22条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(選考及び賞の決定方法)

第2条 賞を選考するために、3名以上の採点委員で以下に掲げる項目について採点を行い、採点結果をもとに論文審査委員会が選考を行うものとする。

2. 採点項目は以下のとおりとする。なお、採点項目は、論文審査委員会が変更することができる。

(1) 発表内容, (2) 発表技術, (3) 発表時間, (4) 質疑応答

(採点委員および論文審査委員会)

第3条 採点委員は、論文審査委員会が指名する。

2. 論文審査委員会は、支部幹事長及び支部幹事の5名で構成する。

(表彰方法)

第4条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
 （ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	(14,000 円)
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	(30,000 円)
原稿料	会誌1ページ相当（ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	(2,400 円) 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		(同 上)
	1時間当たり	900 円
		(同 上)

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。

ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。

・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。

・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。

・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）

高松での幹事会等への出席

・高松市内から 2,000円（市内交通費）

・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない旋錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは旋錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。

2. 使途

助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすることができる。

3. 報告

各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)